

世界は今、儒学を求めている

学校法人昌平黉 理事長
儒学文化研究所 所長
田久孝翁

「経世済民」世を経し、民を済え。二五五〇余年の昔、こう言って時の王侯貴族を説いて十四年間、門人と共に孔子が諸国を歴訪したことは余りにも有名な話であります。今世紀に至っても、この哲学的真理とするものは生かされなければ、民主的平和国家の建設は成り立ちません。

当然のことながら、中国には「三民主義」と言う言葉があります。一、民族の独立 二、民権の尊重 三、民生の確立と言うのがありますが、これに良く似た言葉がアメリカにもありました。「三国民」と言う言葉があります。と言うこの言葉は一八六一年、アメリカの第十六代大統領、エイブラハム・リンカーンの唱えた政治理念であります。

リンカーンは、「愛と正義」を政治信条とする「国民の、国民の為の、国民の政治」を行うとして十六代の大統領に選ばれたのであります。当時のアメリカは国を二分するような南北戦争、一方四〇〇万人に及んだ奴隷の解放問題など、何れもリンカーン大統領の下に解決致しました。やがてこの三国民の思想が今日の民主主義に発展するのであります。果たして昨今世界の情勢は、リンカーンが言っている三国民の思想が生かされているのだろうか、国連の存在が無視されるような時代であります。

子曰く「治に在りて、乱を思う」心とは、このことを言っているのであります。己の欲せざるものは他人に与えることなかれであります。戦争もまた然り、他国（人民）に危害を与えてはなりません。あくまでも世界は平和を求めています。如何なる理由も、それは口実であってはならないのであります。あくまでも真理を、追究する正論でなければなりません。その意味で世界は今、孔子の教え、儒学の精神「忠恕」の道を求めている儒学ルネサンスであります。

世界平和の原点には「友遠方より来たる在り、また楽しからずや」、忠恕の心に従って自分の良心に忠実であり、他人に対する思いやりの心であります。

更に、日本には「遠くの親戚より近くの他人」と言う諺があります。この二つの諺を引用して昨今の国際社会は隣国は勿論、東アジア諸国は儒学文化圏として共通の文化を共有する国家的民族の集団であります。世界的平和に貢献する意味で儒学文化の振興に寄与することが、本法人昌平黉儒学文化研究所の目的であることを申し上げましてご挨拶と致します。